

津波自主避難マップの作成イメージ

下のマップはあくまでも参考事例です。
ひとりひとりオリジナルの、自分のためになるマップを作成しましょう。



書き込む情報

- ①高台、そこまでの時間
- ②高い建物
- ③危険箇所(低地の範囲、ブロック塀、老木等)
- ④親、親戚の家
- ⑤声を掛けていく家 など

津波自主避難マップの作り方の他に「津波の基礎知識」、「こんなときはどうするの?」などを掲載した津波自主避難マップ作成マニュアル(本編)があります。

ダウンロード先 [区ホームページ](#) [津波自主避難マップ](#) 検索



<発行> 品川区 平成25年2月
<問合せ先> 品川区 防災まちづくり事業部 河川下水道課
〒140-8715 東京都品川区広町2-1-36 TEL 03(5742)6794(直)
ホームページ <http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/>

津波自主避難マップ 作成マニュアル 概要版

津波自主避難マップを準備しましょう。

地図は、品川区河川下水道課、地域センター(品川第一/品川第二/大井第一/大崎第一/大崎第二)で入手できます。
また、区のホームページからダウンロードすることができます。

地図の入手

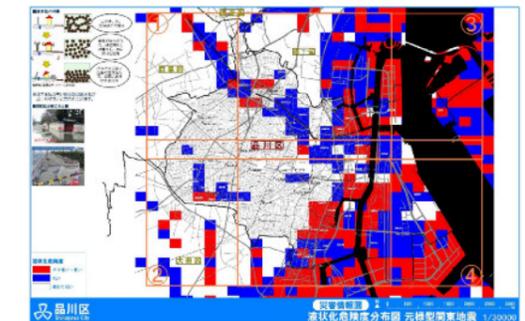
- ・品川区の土地の高さが低いエリア全体をカバーできるよう複数の地図を用意しています。
- ・お住まいの場所や、避難を検討する場所の地図を入手してください。



地域情報図・災害情報図を確認しましょう。

避難を考える上で重要となる「地域の情報」や「災害に関する情報」を併せてご活用ください。

- 地域情報図
 - ・道路幅確認図
 - ・低地範囲図
- 災害情報図
 - ・液状化危険度分布図
 - ・建物倒壊危険度分布図
 - ・火災危険度分布図



ダウンロード先 [区ホームページ](#) [津波自主避難マップ](#) 検索



津波自主避難マップの作り方

津波自主避難マップとは

いざというときにすぐ

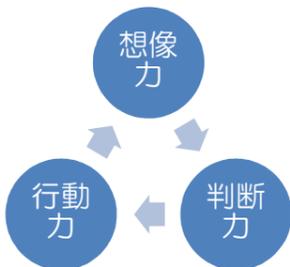
行動がとれるよう、

各個人で作成する

マイマップ

※品川区独自の

津波ハザードマップです



1 出発地を決める

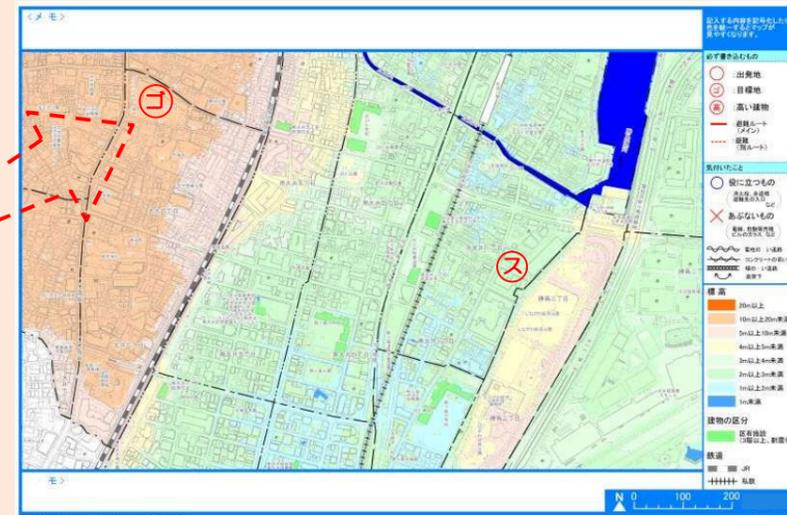
自宅など、出発地を記入。
(スタートの㊸などと記載)



2 目標地を決める

標高図の色分けを参考に目標とする「高台」を決めましょう。

(ゴールの㊹などと記載)



3 避難ルートを考える

地震の後は、建物の倒壊や火災で、道路が通れない場合がありますので、複数の避難ルートを設定してください。

①～③の作業後のマップ

●ワンポイントメモ

避難ルートを考える際は、「地域情報図」「災害情報図」を活用してください。

●ワンポイントメモ

マップに記入する内容を記号化したり、色を統一するとマップが見やすくなります。また、自分だけのマークを作ると、さらに記憶に残ります。



④～⑤の作業を行うとどうなる？

4 現地を歩く

避難に関する情報を意識して現地を歩き、避難ルートやその周辺の状況などを調査してみましょう。調査は、2回行って下さい。

1回目

机上で考えた避難ルートの安全性の確認



電柱、看板が多いなあ。倒壊すれば、通れなくなるかもしれないから別ルートも確認しておこう。



2回目

避難にかかる時間を確認



5 歩いた後に補足する

補足する内容は、交通量、道路の幅、歩きやすさ、所要時間、新たに見つけた迂回ルートなどです。



裏面へ